

議員定数等に関するアンケート調査結果

I 調査概要

■ 調査の目的

本調査は、日光市議会の議員定数及び議員報酬の在り方についての検討の参考とするため実施するもの。

■ 調査の対象

日光市民

■ 調査方法（周知方法）

- ・広報、ホームページ等による周知
- ・郵送等による回答用紙の配付
(自治会長、女性団体連絡協議会の構成団体会員の一部)

■ 回答方法

- ・オンラインフォームによる回答（一部、回答用紙の返送等による回答）

■ 調査期間

令和7年9月～10月

■ 回答状況

有効回答数 311件

■ 調査項目

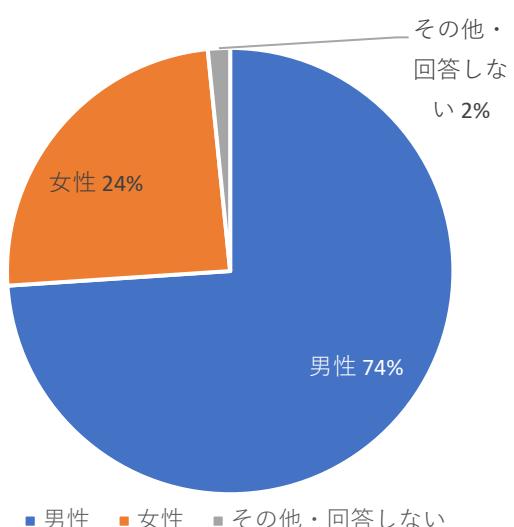
1. 回答者の属性（性別、年代、居住地域、職業）
2. 議員定数に対する考え方とその理由
3. 議員報酬に対する考え方とその理由
4. 自由意見

II 調査結果

1 回答者の属性

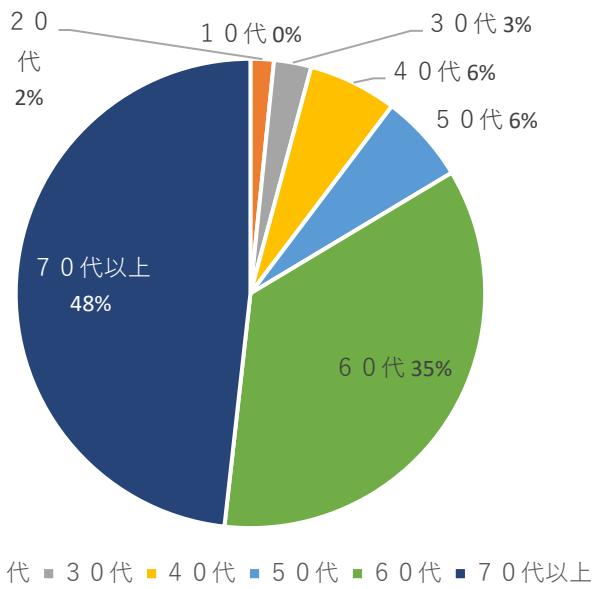
■ 性別

男性	230
女性	76
その他・回答しない	5
合計	311



■ 年代

10代	0
20代	5
30代	8
40代	19
50代	19
60代	110
70代以上	150
合計	311

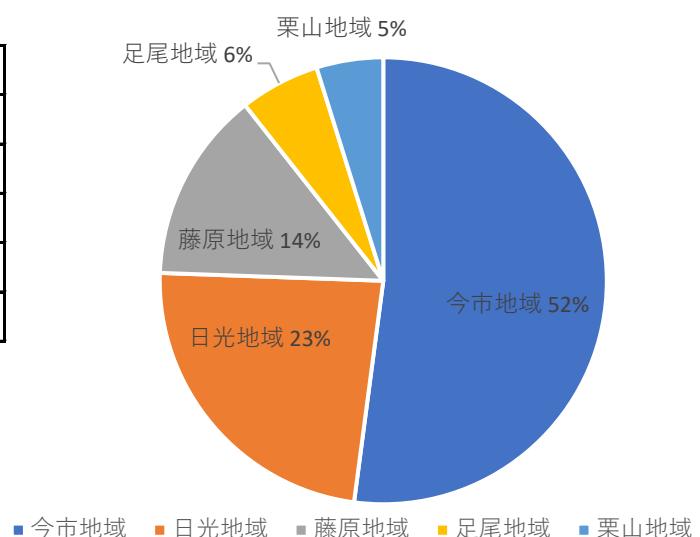


■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上

■ 住まい

今市地域	162
日光地域	73
藤原地域	43
足尾地域	18
栗山地域	15
合計	311

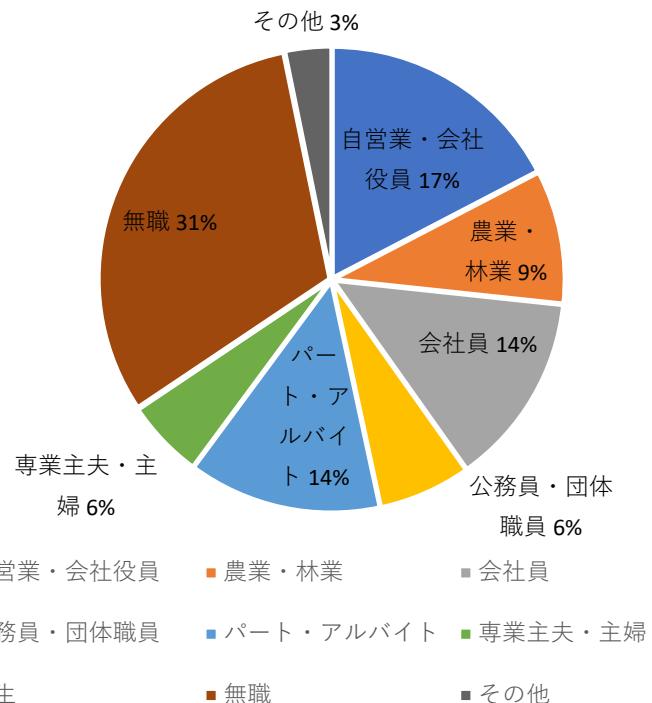
栗山地域 5%



■ 今市地域 ■ 日光地域 ■ 藤原地域 ■ 足尾地域 ■ 栗山地域

■ 職業

自営業・会社役員	54
農業・林業	29
会社員	42
公務員・団体職員	20
パート・アルバイト	42
専業主夫・主婦	17
学生	0
無職	97
その他	10
合計	311

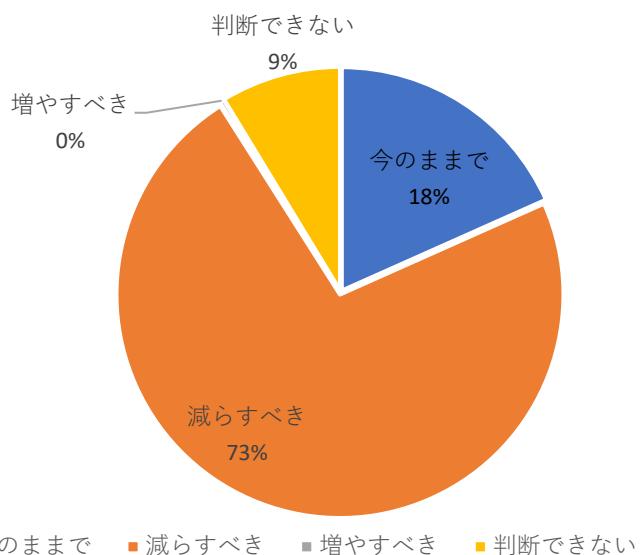


■ 自営業・会社役員 ■ 農業・林業 ■ 会社員
 ■ 公務員・団体職員 ■ パート・アルバイト ■ 専業主夫・主婦
 ■ 学生 ■ 無職 ■ その他

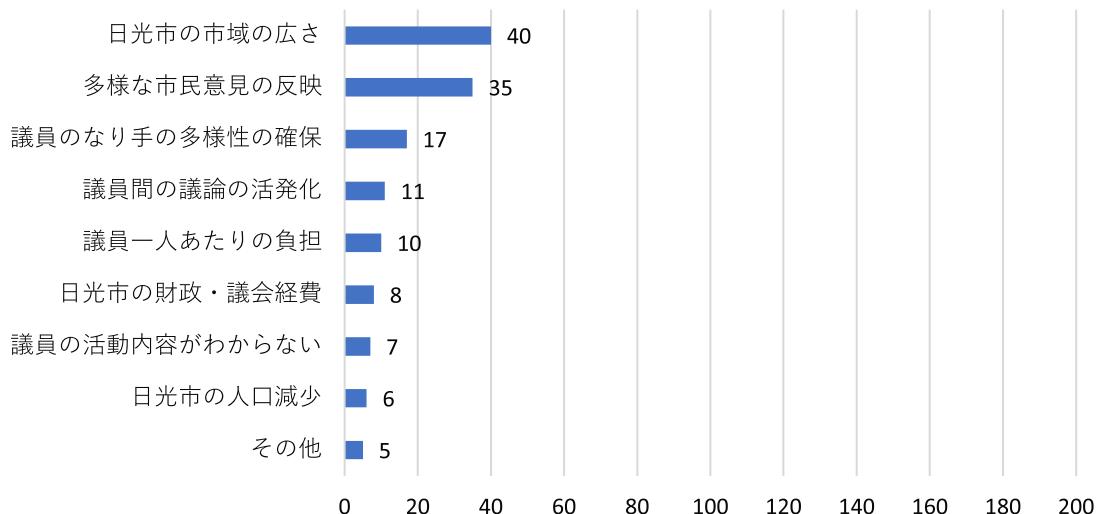
2 議員定数に対する考え方とその理由

■ 議員定数に対する考え方

今まで	57
減らすべき	226
増やすべき	1
判断できない	27
合計	311



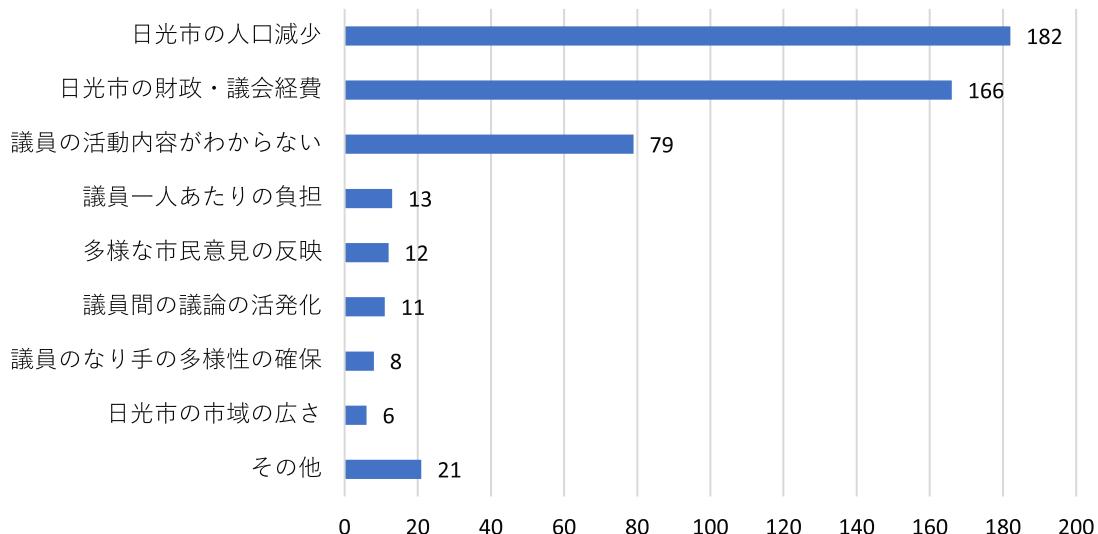
■ 「今まで」とした理由（複数回答可）



【その他】

- ・ 県土の3分の1を持つ日光市であること忘れずに定数を論じるべし
- ・ 公報にわかりやすく（各議員）明示
- ・ 同人口規模の他自治体に比して多く感じるが、広大な面積を持ち多数の集落を持つ本しの特性を考慮すると、現状でよいと思う。
- ・ 理由の記載なし（2件）

■ 「減らすべき」とした理由（複数回答可）

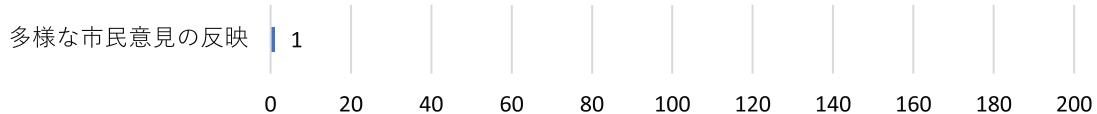


【その他】

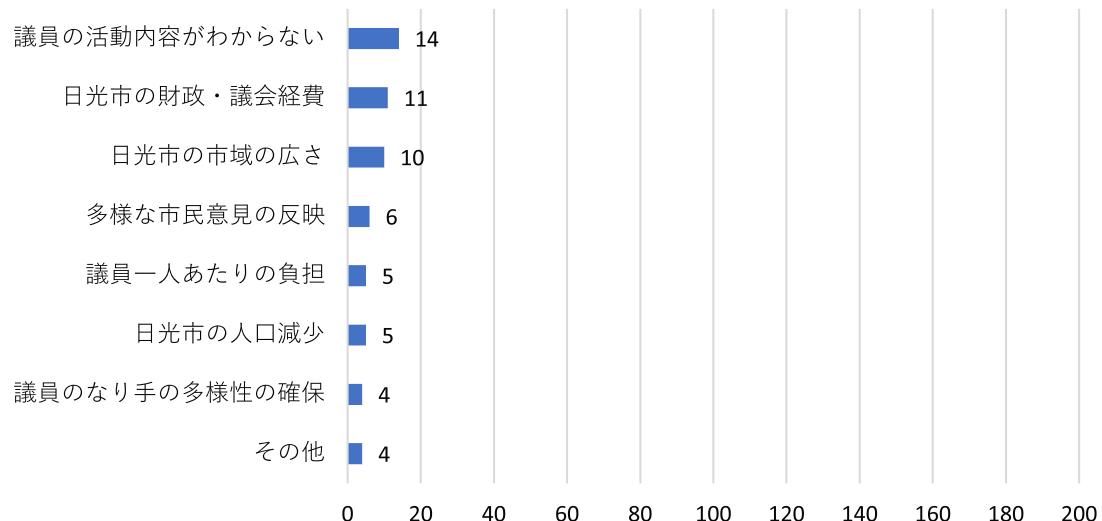
- ・ 旧市町村からバランスよく輩出すべし
- ・ 仕事をしている様子が全く見えない議員が少なくとも2人いる。よって、現状の22人(欠員2人)から2人減の20人に対することを望みます。(人口的に、群馬県では、18人となっていることを確認しました。栃木県は、全県的に、定数が多めですね。栃木と群馬、攻めた政策は群馬の方が行われていると感じるのは私だけでしょうか。)
- ・ 市役所が議員の話だけ聞けばいいといいった空気がある。議員は近い住民や組織の声しか届かない事になるのであまり多くの市民の声を代弁できない。公平に広い声を聞く事ができないのであれば議員は少なくとも良いと考える。
- ・ 人口減少に伴い市のサイズに応じた議員数を考えると今より定員は少なくとも5名は減らすべきである。また文化会館も作れない財政難を考えると直ぐに定員を減らすべき、いろいろなしがらみがあると思うがここで市長のリーダーシップのもと断行出来るかどうか、市民は見ていますよ。今後10年間市長として任せることが出来るかどうか期待はしています。
- ・ 人数を減らした上で、議員報酬を上げるべきだと思います、
- ・ 幽霊議員、大切な税金なので。選びたい議員がいない中で定数そのままも厳しいです。再選を目指す議員の場合、これまでの4年間の活動を判断するしきみがあると良いです。
- ・ 17人
- ・ 20名か21名に減らしても良いかと思います。
- ・ 5年先、10年先を見据えた政策立案能力に長けた人、それぞれの政策提案について真摯な議論ができる人だけを結集させるため。
- ・ 議員1人あたりの人口で、同程度の真岡市と比較した時に、定数20人が適当である。

- ・ 県内の状況（県庁所在地宇都宮市、当該市日光市を除く）から、議員一人あたりの人口は4,100人余りです。これを日光市に当てはめると議員数は 18. 22 になります。《日光市74,845 ÷（市人口合計1,080,280 ÷ 議員数 263）》栃木県の面積の4分の1を占める当市の状況を考慮しても議員定数は 20 名以下（将来は 18 名）が適当ではないかと思います。なお、定数を奇数に定める市議会がありますが、採決の際賛否同数による混乱を防ぐため偶数人数が良いと思います。
- ・ 市議会に相応しくない議員の追放
- ・ 人口から大きく減らすべき。市域が広くても情報の発信,収集は可能 少数精銳で質の高い議論を期待したい。
- ・ 人口に対して多い
- ・ 人口比で5千人に1人ぐらいが妥当な定数だと思うので15人でいいのかと思う。
- ・ 足尾・栗山の意思を代弁できる議員が必要と考えれば「①今のままで」となるが10年後、20年ごとを考えると「②減らす」となる。市全体に目配りできる議員議員、グループの選任が望まれる。 PS定期的に見直しが必要
- ・ 他市との比較でも多く感じる
- ・ 他市と比べて、多いと思う。（市域が広いのは、わかるが、割り切るタイミングでわないか）
- ・ 現在欠員 2 名（市議）令和 8 年度から 22 名で良いと思う。
- ・ 足利市の人口は日光市の約 2 倍近いのに議員数を減らすこと。日光市も減らすべきでは・・・。
- ・ 定数を減らしても市民の声を聞き入れる行動（方法）が欲しい

■ 「増やすべき」とした理由（複数回答可）



■ 「判断できない」とした理由（複数回答可）



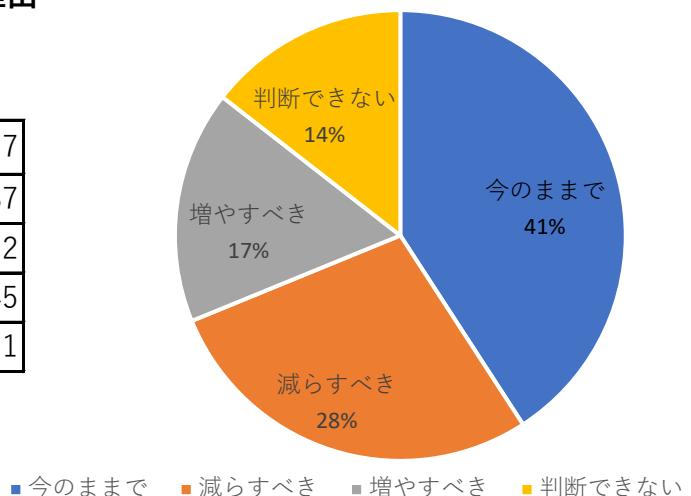
【その他】

- ・ 民意の反映や氏の財政など多くの要素が考えられる。
- ・ 日光市は個々の団体が活動していますが、内容が見えない。TVで流せないものか？
- ・ 記載なし（2件）

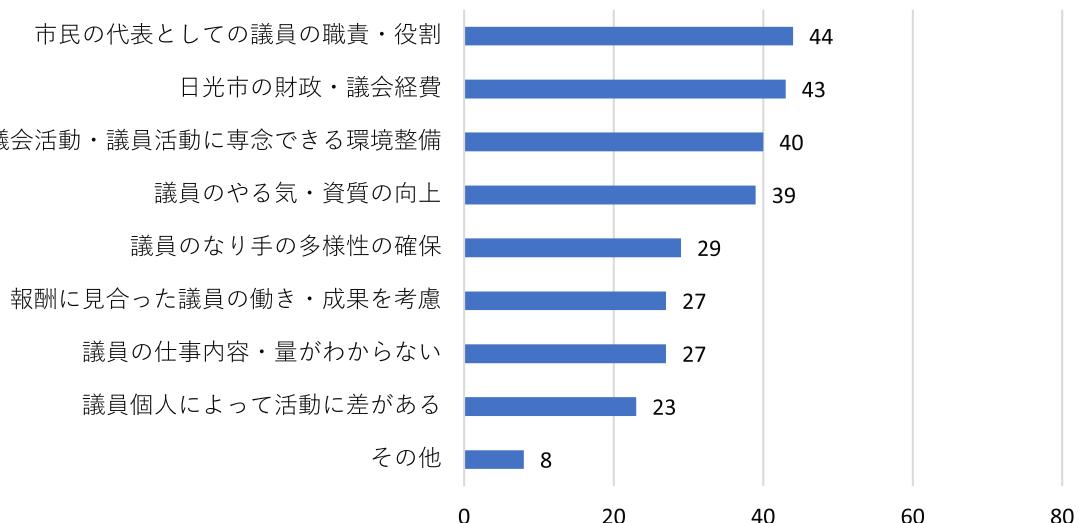
3 議員報酬に対する考え方とその理由

■ 議員報酬に対する考え方

今まで	127
減らすべき	87
増やすべき	52
判断できない	45
合計	311



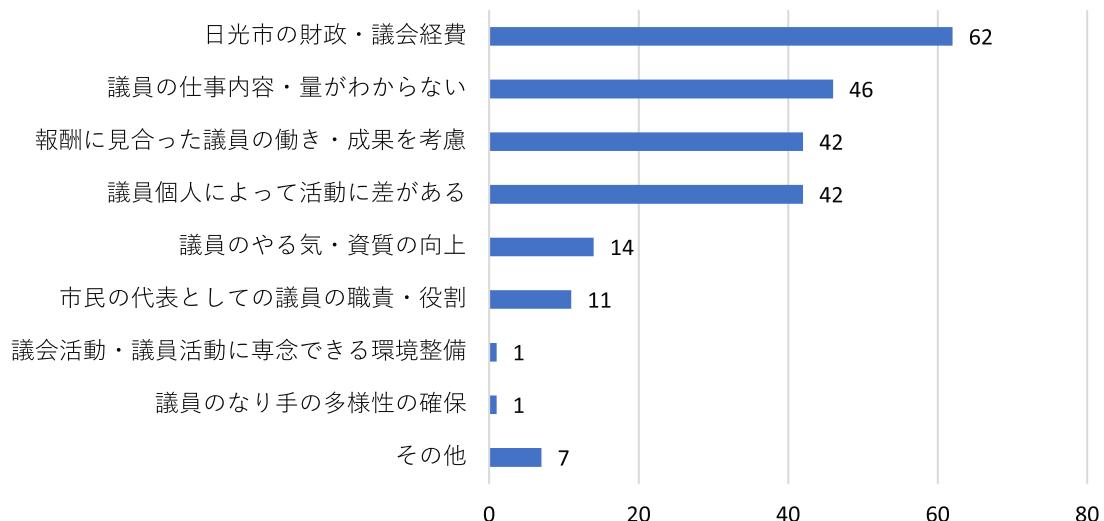
■ 「今まで」とした理由（複数回答可）



【その他】

- ・単純に多い少ないという議論よりも、日光市の財政ベースや稼働時間等で考える必要があると思う。一月にどのくらい活動時間を費やしているのでしょうか。
- ・県内ほかの市 定数及び報酬月額を 比べた結果 減 38万でいいと思います
- ・公報にわかりやすく（各議員）明示
- ・市民に財政の逼迫感を唱えている以上、報酬については現状でお願いしたい。
- ・定数減にて 現状維持にて資質を願う
- ・理由の記載なし（3件）

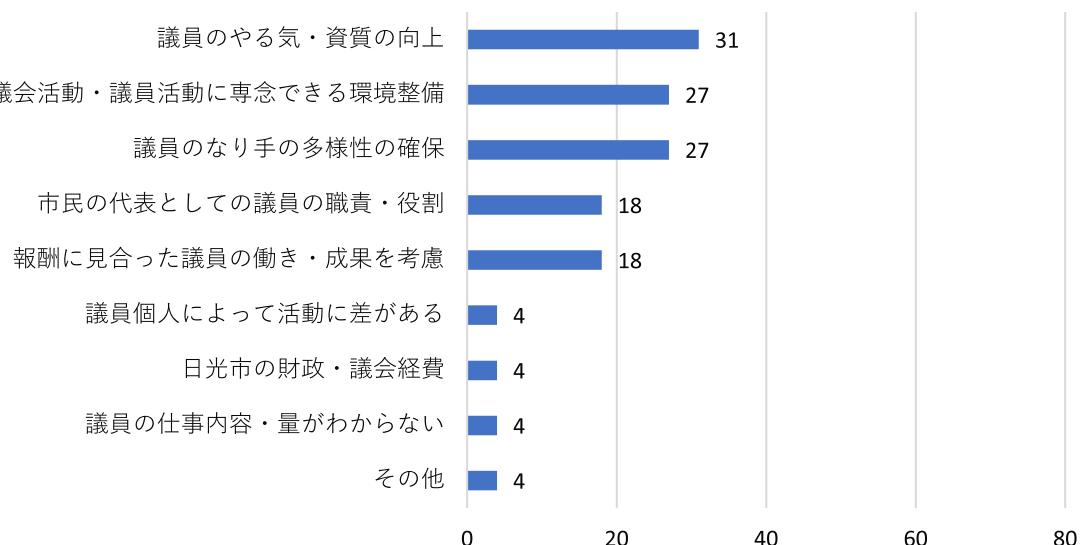
■ 「減らすべき」とした理由（複数回答可）



【その他】

- やはり群馬と比較すると栃木は全県的に高いです。群馬の渋川市は、日光市よりも人口が多いのに、18人で36万円ですね。
- 奉仕精神で活動できる人材を増やし、身を切る改革として市民にわかりやすく示せる。
- 議員のやる気が感じられない。
- ボーナスカット
- ヨーロッパの国々に行って学んだのですが、議員の報酬は無いとのことでした。日光市の財政を考えると減らすべきと答えます。
- 記載なし
- 議員の議会での質問0回の議員がいる。もっと市民にその議員の活動をわかりやすく知らせるべき（広報などで）

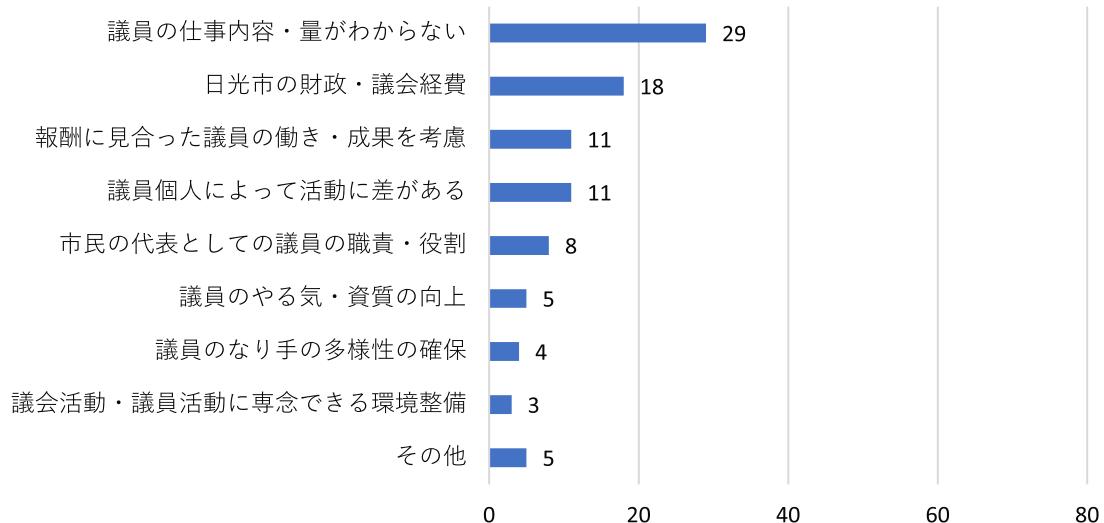
■ 「増やすべき」とした理由（複数回答可）



【その他】

- ・議員活動に専任できる報酬ではない
 - ・議員報酬の総額は据え置き、定数が減少した分、1議員当たりの報酬を増やす。この措置により、公平無私への環境を整え、真に市民の将来をデザインできる優秀な議員だけの議会を創る。
 - ・物価高騰についてゆけない事情を考慮しても、他の市から見ても日光観光の将来を考え、月額420,000円にすべきと考えます。政務活動費年額24万円つけるべきです。
 - ・議員活動に専念できる報酬は支給すべきと考えます。月額40万円程度が適當ではないでしょうか。期末手当は、支給について賛否はあるものの、私は議員の人としての生活を考えた場合、支給すべきと考えています。貰うものはしっかりもらって、しっかり働く！！ただ、支給の額については、市民に難解な計算式ではなく、一般的な支給率で良いのではと思っています。一例として夏報酬額の1か月、冬2か月など。
- ◆条例上の計算式◆《(報酬月額 + 報酬月額 × 45 / 100) × 170 / 100》 × 支給基準日 以前6か月以内の在職期間 ····· この算式で良いですか？
- 政務活動費については、報酬に含むものであって別枠で支給するものではないと思っています。ただ、前述の「栃木県の面積の4分の1を占める当市の状況」を考慮すると、交通費（通勤手当的なもの）の支給は必要です。一律に月額20km以内の10,000円、30km15,000円、30km以上20,000円などの区分でも良いのでは、と思います。

■ 「判断できない」とした理由（複数回答可）



【その他】

- ・緊縮財政を考慮すると今後アップする際はそのアップ率を下げても良いかと思います。
- ・他市と比べて高い方ではないのですが。私の勉強不足で「⑧議員の仕事内容・量がわからない」
- ・報酬の他、日当等の出金があるのであれば、減らしてもと思う
- ・記載なし（2件）

4 自由回答

■ 議員定数・議員報酬のこと

【Q2.議員定数について】

日光市の厳しい財政状況を踏まえるならば、市議会の定数は20名程度に削減するのが妥当である。同規模の自治体と比較しても現行の定数は多く、削減しても市政運営に支障はないと考える。

アンケート項目にも「日光市の市域の広さ」が論点に上がっている通り、一部の議員が、「日光市は面積が広いため、多くても仕方ない」「定数削減により今市地区の意見ばかりが反映されてしまう」といった意見を述べていることを聞いたことがある。

しかし、この懸念は行政が直接、住民意見を吸い上げる仕組みを整えることで解消できるのではないか。加えて、議員が吸い上げる場合、支持者や後援会など特定の層の声に偏る危険性があるが、行政が意見交換会やアンケートは、より中立的で公平な意見集約が可能ではないか。

議員歳費を削減して、その分を行政主導の意見集約・住民参加の仕組み強化に充てる方が、むしろ多様な意見を市政に反映できるのではないか。

【Q3.議員報酬について】

議員が報酬に見合った政治活動を遂行する能力を持ち、かつ十分な活動をしているのであれば、現在の日光市議会議員の報酬は常識の範囲内であると考える。

しかし、兼業者の多い日光市議会議員が、政治活動に時間の比重を多くしているとは思えない。

今回報酬に関する議論が浮上するのは、市民が「報酬に見合った活動を十分に遂行していない」と判断しているからではないか。市議の兼業についても、兼業議員は一部を自主的に返還する等の姿勢が必要なのではないか。

【追記】

定数削減論議の裏側には、住民の市議会議員に対する不信感が存在するのではないか。

特に私は「議員の視察の費用対効果」を問題視している。

私が公開されている議員の視察後報告書を拝見した限りでは、オンラインで現地担当者から説明を受ければ済むような内容が大半ではないかと感じてしまう。

税金を投じる以上、現地に赴く必要性を明確に説明し、かつその成果を、一般質問、広報にこう、市政報告会、後援会新聞等を通じて住民に積極的に発信すべきである。

「市にはお金がない」と日頃発言している議員が、自らは市のお金を視察に充てることに抵抗がないのは矛盾しており、住民の疑念を深める要因となっている。もし惰性で視察を行っているのならば、その税金を一円でも多く日光市の諸課題解決に資する予算へと振り向けるべきである。

いただいた県内14市の資料を見ると日光市の人口当たり議員数は多いのではないか。日光市として特別の理由があるのかわからないが、このところの人口減少を考えると減らすべきかと思う。

また、報酬については他市に比べて低額で政務活動費も認められていない。各市の財政状況等もあるかと思うが、市議会議員に求められる職責や仕事量から適切な額を支給してほしい。

議員の質の向上や市の財政状況を踏まえると、議員定数については、20名が適当と考える。

一方で、議員報酬については、定数減で捻出した財源で増額するべきと考える。そのことにより、議員の意欲、質の向上が図れれば良いと考える。

また、議員報酬を増やすことで専業の議員が増えれば良いとも考える。

議員定数案：15人

議員月額報酬案：議長61万円・副議長55万円・議員49万円

政務活動費：月額上限1万円（領収書を添付のうえ毎月報告し、上限月額未満であった場合その全額を、上限月額を超える場合は上限額を支払う）

※政務活動費の使途については、食費、接待費、慶弔費などへの支出を厳密に禁止し、規則ではなく条例として制定すべき。

市内人口が5万人を割り込む未来が現実になろうとしているからこそ、同じ人数でも議員活動の量、質が変わらないよう、今から備えるべき。

議員報酬については、決して兼職を禁止するものではないが、議員活動に専念しても十分な報酬とすべき。

鹿沼市が今後22人になる予定であり、真岡市が21人であることから、日光市は20人が適正だと思います。

現在の日光市の現状を考えた時人口減少、財政状況等課題が山積しています

確かにこの地域の広さを考え多様な意見を取り入れるのは大変なことだと思います

しかしながら人口比の議員の数を考えると今の日光市は明らかに議員の数が多すぎます

半分にしろとは言いませんがせめて8人は減らすべきです

報酬についても財政状況を考えれば20万程度でよいのではと思います

本来議員は志をもってなるもの昔は無報酬だった事もあった

半ば職業かのようになっているとしたら何かを履き違えできる気がします

市会議員になりが少ないとあっても報酬は必要経費にとどめるべきだと思います

一刻も早く、議員の定数減、報酬減の実現をお願いします。財政難の日光市、それに対して未だに具体的な動きが見えない現状に憤りを感じています。市長さんはたくさんの議員さんの支持を受けて当選されたので、議員の定数減が出来ないのではと心配する意見も聞こえてきますが、私はそんなことはないと信じています。

日光市は広大な面積を有するが、今後のデジタル社会に向けIT技術を積極的に活用する事により定数削減は十分可能である。

また、将来に向けて人口減少傾向が確実であるため、1人あたりの議員比率や効率性、公平性、財政運営の観点から段階的に削減する事が望ましいと考えます。

議員定数は16～18に減らすべき。その分報酬を上げれば、議員の質も上がるのでは。 22では現状と変わらず。これでお茶を濁すのはあり得ない。
現状では他の市町村を参考にしても定数は20人以下だと思います
議員としての身分を保証することも大切だが、仕事に見合った報酬にする必要がある。月額38万は高額だと感じる。
日光市は面積は広いが森林が多いので、人口から考えると20人が妥当だと思う。 他市と比較してもやはり多すぎる。 財政難を考えても是非定数を減らすべきだと思います。
人口減少に合わせて議員数は減らすべき。その上で、当選した議員には議員活動に専念できるよう、それだけで生活できる報酬は支払うべき。
他と比較して3減の21名が妥当かと思います。
定数を減らすことにより、議会関係の予算を増やすこと無く報酬を上げる事が出来る。 他市と比べると定数は多い感じかするが、活動エリアの広さからやむを得ないと考える。 報酬は市財政が厳しい中現状維持と考える。
少子高齢化のため日光市財政がマイナスになりつつある中での市を維持・活性化を図る必要が重要であるため市議の定数を考える時期ではないでしょうか。
議員定数20人
議員の報酬の年間報酬をその市の人口で割ると一人当たり県平均が65円になります。日光市は62円位で良いのでは。 定数減が望ましい。物価高、最低賃金の是正等を考慮して報酬をアップすべき。
政治活動費を支給しても良いのではないか。 ここ10年で本市の人口は約14%減少しております。現在の議員定数24名は、他地域と比較しても平均的であり、これまで特段の問題はなかったものと考えます。
しかしながら、今後さらに人口減少が見込まれることを踏まえると、議員定数についても見直しが必要であり、おおむね20名から21名程度が妥当ではないかと考えます。
人口減少もありますが、議員のやる気、資質向上のため定数を20名にして、議員報酬は上げるべきである。
国政もそうですが議員が多すぎだと思います。報酬額を上げ議員の質を良く少数精銳でスピードある政治を望みます。
市の人口が減少している状況では、議員定数を減らすことはやむを得ないと思う。その分政務活動費として他市と同じように支給し、議員としての資質の向上に役立ててもらってはいかがでしょうか？
議員定数は、各地域・各地区2名とし18名で、今までの支払い分を均等に支払ったら良いと思います。 ちなみに、今市地域は5地区ですので10名で、他の4地域は2名づつで良いのでは。
足利でも21名とのこと、日光も少数精銳で21名でも定数削減なら報酬は現状維持でも（政務活動費不支給だし）
報酬はそのままで、政務活動費を設けるべき。但し、額は20万円程度で内容使途は明確化しチェックは厳格にする。公開も考慮する。

平成18年3月に2市2町1村が合併し日光市が誕生してから丸19年以上経過したことからひとつの日光が定着しました。当初は地域を考慮した議員定数であったが人口減少等を勘案し1～2議席定数削減が望ましいと考える。

議員定数は20名、議員報酬は300,000円が妥当だと思います。

定数 21人 報酬 420000円/月

議員定数は 今後の人口減少を考えると 20名程度が望ましいと思います。

現在の人口においても、21名から 22名程度 が他の市と比べても妥当だと思います。

段階的に減らすということもあるでしょうが、今後の 人口減少がすでに 予測が立っているわけですから、現在の 2名 欠員の22名で活動していることを 考えると、そこから2名減 の20名というのが 本来 落ち着くべき 定数のラインだと考えます。

また 議員報酬は 決して増やすべきではないと考えます。その理由は 地域会議員においては副業 が可能であり、 実際に 自営業 を含め 会社員等の給料 を他からも出ている 状況があり、 現在の日光市の財政難が今後も 続くことを考えれば 安易に 月額報酬を 上げることはできないと思います。

まずは21人に減らす。

適正と考えられるのは16人前後ではないでしょうか。

議会出席したら 2万円支給、発言したら 5千円支給にしたら、いいのでは、ないか。

議会出席しない議員居るみたいだし質問も一回もしない議員いますよね。

今の給料は高すぎると思う。

議員の定数、報酬もある程度確保していかないと活動しにくくなるので、市の活性化においても必要事項と思います。これから日の光市の活性化をさらに目指して議員定数も報酬も減らさないで日光市のさらなる発展を目標に活動して欲しいと思います。また、日光市民に負担をかけない增收も考えていきたいです。企業誘致を考える。総合的にです。

足利市より人口が少ない日光市で、定数が同じなのも違うと思い、議員定数は減らすべきと思う。

また活動内容が全く見えないで、38万の報酬がどうかは、判断することができない。

むしろ活動していないのでは？と思ってしまう。

出席日数によって日割計算

■ 議会活動・議員活動・議員の資質等に関するこ

議員数はこれで良いのかとに思えます。市議会を聴講しても議員の質問の内容には少しガッカリです。例えば、下水道に関して「物は壊れることを予知して未来に向かって資金を積みあげるための下水道の料金の値上げは行うべきである思います」。日光市として計画を示して市民の理解が必要だと思います。下水道が使えなくなつてからでは遅いということを市議として理解すべきであると思います。値上げは誰もイヤでしょうが市民が理解できる方法を示して理解をもめることが必要だと思います。結論して、議員としての知識の涵養を求めることがあります。

自分の活動報告を新聞折り込みなどで広報している議員は3人しかいない。

その他の議員は何をやっているのかわからない。

議員としての自覚を持ってもらうためには、議員報酬だけでも生活できる程度に増額する必要がある。

しかし財政難なので、総費用が増えないように議員定数を減らす。

また年2回も行われているた自治体の視察は、全く役に立っていないと感じる。

この視察の報告をしている議員は誰一人としていない。

即刻辞めるべきと思う。

地域の意見を反映した公聴会などをまめに開催して欲しい

声を聞かれるのであれば何かしらに反映されるものと思いますが、何ら反映がなされない、終わってる対応がなされることを望みます。意見集約の結果発表、楽しみに待っています。

財政が苦しい時に、視察旅行(観光旅行)の必要性はありますか？

市政に視察した内容は、有効に役立っているのですか？

足尾、藤原、三依地区を考慮しつつ定数を決めるべきと思う。しかし、議会をみると市議の市政に対する涵養が足りないと思う。若者の為にも考えてほしい。

市議の活動が福田悦子さん以外、見えないのだが、他の皆さん議員として議会以外で市民の立場になって、なんなら困っている市民とともに役所や支所へで向いての活動はされているのでしょうか？

議員活動の報告や市民の陳情に真摯に向き合って欲しいと思います

議員は、市民の意見を市議会と市政に届けて下さい。

市議会議員の方々がどんな活動をしているのか不明。また、何か結果を残しているのか…市政で何か変わったのか…不明。

身近に感じられない。

とにかく議員の質が低いのをどうにかしてください！ 巷ではみんな呆れていますよ！

市議会議員の報酬は、市民の意見、いかに市民の為に働いて報酬額を決めれば良いのでは、選挙戦の時は市民の為といい、当選すれば、自分ファーストの議員さんが多いと思うからです、又議員定数も現在より2.3人減らしても良いと思う、市民の為に働く人はいないと思います。

全然議員達が何をしているのか市民には響かない 逆を言えば他の地域から 遅れを取り 取り残されている過疎感を感じる。 そんなに人数 必要無い 変わらないんだから日光市は道路整備も？ どうすれば人口増える等 市長を始め 全く響かない だめだよこの市は

当選後の横柄な態度に変わる議員いる。

一般質問など日光市又は市民の為では無く自身に関係の質問やただ単に自身が知りたい内容など議員の質が問われる幼稚な質問が目立つ。

行動が遅すぎる

民間の方が全てにおいてやる気がある

とにかく日光市を良くする方法を考え動いて下さい

棚からぼた餅はありません

もっと税金の無駄遣いをしない議会がよいですし19名がよいです

9月議会の一般質問に8名の登壇では、議員のやる気が問題である。

地元出身の議員との懇談意見交換の場を設けてもらいたい。地元の意見、要望で困難なもの好き勝手な意見がでることがあるかと思いますが、それに対応した応答説明であればわかつてくれるとと思います。

議員の仕事内容が良く分からぬ。また自治会との交流についてもどうすれば良いか分からぬ。何か交流の場を設けたら良いと思う。

日光市は政務活動費が計上されていないが、どの様な実際発生している経費は報酬で対応しているのかよく解らない。議員の活動が制限されてしまうのでは?

市民からの要望は真摯に向き合うべき

議員活動を評価する仕組み(選挙以外)が必要。

議員

わからない次元の人たち

実際に何をしているのか

役職にこだわり、自分を捨てきれない人達

各地域によっていろいろな問題点が有ると思います。当足尾地域においては市民の数が毎年減少しています。議員さんがいなくなってしまうこともあります。地域の問題が反映されないことが多く有ると思います。そのような事のないように考えていただきたい。

議会・議員とも旧態依然の組織・個人活動にとどまり危機迫る日光市への対応がなされていない。目に見える両輪として脱皮した活動が必要。

議会活動の中で特に重要な一つに、閉会中の委員会活動と考えております。市政の課題について行政側の調査だけでなく、今以上議員自ら研修も含め十分調査し、当局に課題解決を求める付託にこたえていただきたいと思っております。また、正副議長を筆頭に各委員会議員、地元・関係議員など地域住民との議員懇談会も開催し、それぞれの地域で抱えている課題について、話し合いの中で課題解決していただきたいと願っております。

新市長もやる気満々。日光市議会のますますのご活躍。期待しております。

議員個人の活動が充分に市民に伝わっていない気がする。何をしているのか分からぬ、自分の地域だけでなく市全体に市民の代表として目配りを望みます。

選挙によって選ばれた者は公的に何をしているのか知らしめるべき

議員は最大のサービスマンであると思う。選挙の時だけ(当選するため)にサービスマンでは市民は期待はずれになってしまう。(ガッカリ!)

質向上のために、人数を減らして、本当に日光市のために動いてくれる人に活動してほしい。そのためには議員報酬は増やすべきです。(政務活動費も)

報酬は、他市からすると決して多いとは思いませんが、仕事の内容が見えない事と個人差があるのではと感じています。日光市は自分もそうですが高齢化率が高く若者が離れてしまう事が課題です。何とかしてください。

議員の皆様には役割をしっかり行っていただきたいと思っています。

個人個人の活動が見えにくいです。

■ その他議会・議員にすること

一定の期間、一般質問で質問しない議員であったり、活動が表に見えない議員に対する評価制度などを設けていいかがでしょうか。
日光市の面積が広い為議員が居なく無る可能性がある為選挙の方法を考えたのがよい
オンライン配信で議会の情報を受け取れる仕組みは整ってきていますが、若手や女性、子育て世代、働きながらでも立候補しやすい環境を整えるとともに、市民がもっと声を届けやすい議会にして欲しいと思います。
議員定数の削減を実施する場合、日光市は広域に範囲がまたがるので人口と面積を考慮して配分してもらいたい。
議員の資質又は行政スキル向上を図るため、議員を鍛えてほしい。
日光市人口減少が課題、発想が豊富な議員を求める。
今後の課題として、議員活動内容を市民が自治会をとおして議会事務局へ、議員活動の働き方とその内容を知るシステムを新設できないものか、ご検討をお願いします。
日光は非常に広域であり、周辺部は特に過疎化が進んでおり、議員の多くが今市地域に偏る傾向がある。各地域にはまったく違う事情もあるので、何らかの方法で各地選出の議員が出るような工夫が必要だと思う。
一部ボランティア制（若干の報酬で）の議席を用意したらいいのではないかと思う。大学生から高齢者まで参加してもらい、より良い日光市作りを目指す。
議員が市役所に行った際の記録を明確にすべき。
一般質問などしない議員は、必要ない。
本人からの報告でなく、事務局でもいいから議員個人別の活動内容がわかるようにして欲しい。

■ 市政にすること

各庁舎の空いている部屋を市内学生の学習スペースや市内サークルの活動場として広く活用すべきでは？
市内になくなってしまった文化ホールの再考を希望！舞台芸術を観たことがない子ども達がすでに存在しており、子どもの情操や感性を育む機会を消失させた責任は大きいのでは？まさかとは思うが市議自身や市長はじめとする指導者達すらも、ことの重大に気がついていないのか？
学校図書館と市図書館の連携は？宇都宮市と比較した時に、子どもの教育格差（学校図書館司書配置され市図書館と連携している）が20年以上前からすでにあるが、日光市としてどう考えているのか？
日光市のスマートシティ化。
市役所、幼稚園、保育園、小中高校、病院を集約する。
なんと言っても自然消滅都市からの脱却ですね。
過疎化進行地域の経済対策を実施して欲しい。
財政改善のためにも必要ない道路拡張はやめるべき。裏道で補修が必要な道が市内にある。

日光から文化発信の火を消さないで欲しい。文化を疎かにするところには人は集まらない。文化会館を何とかしてほしい。

議員定数削減と緊縮財政の実現

税収を増やす工夫について市民の声を聞いてはどうか？特に20歳代の若い人たちからの意見をまとめてみてはどうか？

市執行部と若い人たちとの意見交換会の実施

現在の深刻な人口減少 少子化を考えると、対策は待ったなしであり、一刻を争う状況ですから、今までの継続のような行政及び議会運営では日光市の未来が展望できません。

農業を主軸とした地場産業と中小の企業からなる各種工場の経営を支える抜本的な施策が必要であり、生活インフラを支える地元土木業者の減少を食い止める市内インフラ整備の促進は急務であり、国際観光都市日光として観光業の急激なV字回復が必要な現状を鑑みれば、市をあげての一大改革が急務です。

鬼怒川温泉駅前再開発計画は本来本庁の都市計画課などが主となって市長がしっかりとリーダーシップを発揮し、将来を見据えて本腰を入れてやるべきことであり、市議会はそれらのことを市民に見える形でもっと真剣に腰を全てやるべきです。さらにはニコニコ本陣跡の再開発や鬼怒川岩風呂の再開発はもちろんのこと、各地で進む廃校の利用の仕方を早急に取り組まなければならないことを考えれば議会議員にはもっと頑張ってほしいと切に願います。

日光市の「道の駅」は失敗だったと思います。いつも交通渋滞で地元市民は「行きたい」と思っても時間のロスを考えてしまいます。市民が集える「場所移転」を望む。

■ アンケートに関するこ

無意味な質問くだらない

低レベルすぎ恥ずかしい

各議員の人数や見合った報酬なのか判断できないため、全員の役職一覧があるとよい。

■ その他

主要な道路の整備だけでなく脇にそれた歩道などにも気を配ってほしい。

おもてなしについて 何故北海道が1位になり栃木県は下位なのでしょうか？皆さん考えてほしいです。